

災害事例 (不休業24)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所	2022年9月14日(水)	10時	プラント内
職種:年齢:経験	作業員	53才	10年
発災時の作業内容	保温解体作業中、作業員が保温クズのゴミ袋を受け取るために排水溝をまたいだ際、左足を滑らせ 80°Cの熱水が滞留していた排水溝に足を踏み入れて、熱傷を負った。		
傷病名:部位:程度	熱傷	左足	不休業
事故の型:起因物	高温・低温の物との接触		排水溝
原因	不安全な状態	<ul style="list-style-type: none"> 排水溝の滞留水が熱水(80°C)だった。 排水溝が開口状態となっていた。 	
	不安全な行動	<ul style="list-style-type: none"> 排水溝をまたいで、ゴミ袋の受け渡しを行った。 	
	安全管理上の欠陥	<ul style="list-style-type: none"> 排水溝の滞留水が熱水だったことに気が付かなかった。 排水溝を開口状態のまま放置していた。(客先) 排水溝の滞留水が熱水であることを作業員に知らせていなかった。(客先) 	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> 監督は作業エリアに危険な状態がないか工事着工前に客先に確認し、危険な状態があるときには作業員へその内容を伝え作業方法の見直しを行う。 排水溝に蓋を設置する。(客先) 		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り
			